

# 市来農芸 だより



## 年頭のあいさつ

新春を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。

昨年度は、「元号が「平成」から「令和」に変わる大きな節目の年でした。新元号「令和」に明るい時代を願い新たな希望を感じた一年でした。また、大雨等により、いちき串木野市の大里川が氾濫して堤防が決壊し大きな被害を受けました。自然災害の恐ろしさを再確認させられました。

生徒の活躍成果として、第3回和牛甲子園で総合評価部門と取り組み評価部門の2部門で、最優秀賞を受賞し、日本一の栄誉を獲得しました。また、鹿児島県畜産共進会で若雌二区の部・最優秀賞・特別部位賞・体積を受賞し、第7回九州連合ホルスタイン共進会で第2部未経産牛の部・名誉賞を受賞しました。第3回黎明の地ふるさと短歌大会で、大賞と県歌人協会賞・市長賞を受賞し、部活動や文化活動でも多くの賞をいただきました。

## 第203号

令和2年2月1日  
編集・発行  
市来農芸高校広報係  
いちき串木野市湊町160  
Tel (0996) 36-2341  
発行責任者  
校長 倉岡 八郎

また、農業クラブ活動では、第70回日本学校農業クラブ全国大会南東北大会農業鑑定競技会(福島県)の園芸と食品の部で優秀賞を、第62回九州学校農業クラブ連盟発表大会(沖縄大会)では、意見発表とプロジェクト発表で優秀賞を受賞し全国・九州大会規模で活躍してくれました。

PTA活動では、農産物販売会でのPTAバザーや食物バザーで協力をいただき、大盛況でした。

現在の生徒の進路状況は、進学では四年制大学に2名(鹿児島大学農学部1名)、短大に3名、県立農業大学校に5名、専門学校に11名合格しています。就職では、県内就職が現在83%を占め、地元に残る生徒が鹿児島県に貢献することを期待いたします。まだ数名の未決定者がありますが、全員が進路実現できるように全職員で努めて参ります。

令和2年度も、「行きたい学校 行かせたい学校 卒業したい学校」を目指し、生徒・職員ともに一所懸命頑張

って行きます。今後ともご理解とご協力・ご支援をよろしくお願いします。  
(校長 倉岡 八郎)

## 3年間を振り返って

3年 農業経営科

### 城戸 将義



私は、高校生活で規則正しい生活を身につけることができました。他の学校ではあまり経験できない一年次の義務入寮生活を経験することで、協調性やコミュニケーション能力、自己管理能力の大切さを知りました。

三年生の夏休みはほぼ毎日学校に来て面接練習や履歴書書きを頑張ってきました。時には上手くいかず逃げ出した日もありましたが、周りの友人や先生方のおかげで頑張ることができました。試験当日はこの夏の頑張りとこれまで三年間の高校生活で身につけてきたことに自信を持ち、胸を張って臨むことができました。そして志望していたスターゼンミートプロセッサー株式会社より内定をいただくことができました。卒業後は、この三年間で学んだことを生かして社会人として責任をもち、頑張っていきたいです。

3年 生物工学科  
福満 陽菜



私は、三年間を振り返って継続することは力になることを学びました。入学当初から始めたプロジェクト活動では、二ワトリに関する研究を続け、農業クラブの全国大会では優秀賞を取ることができました。そして、研究は徐々に後輩へ引き継ぎ、私は受験勉強に専念しました。小論文や面接練習を約一年間みっちり行い、無事、志望校である鹿児島大学農学部農業生産学科に合格することができました。

プロジェクト活動や勉強をする中で毎日続けることが大変だったり、上手くいかないことが多かったり、気持ち落ち込むこともありましたが、家族や先生、友人に支えられ続けることができました。特にプロジェクト活動と受験対策の面で指導してくださった草水先生(農業科)にはとても感謝しています。三年間ずっと指導してくださったおかげで、こまごま成長することができました。卒業後は、これまで培ってきた根気強さを生かし、自分一人でも前に進めるように頑張りたいです。

3年 生活科  
八代 菜々



私は、三年間を振り返ってみると、寮生活や学校生活を通して、いろいろなことを学びました。

寮生活では、集団行動や時間を守ること、先輩後輩の上下関係について学びました。学んだことは当たり前のことなのかもしれませんが、卒業を目前とする今になってはとても大切な経験であったと実感しています。寮の規則も厳しく、挫けそうになった時もありましたが、友人にも救われここまで成長できました。

学校生活では、農業のことについて学び、卒業後は鹿児島県立農業大学校農学部花き科に進学します。将来は家業を継ぎたいと考えているので高校三年間で学んだことを基本に、農業大学校ではより発展的な勉強をしていき、両親に負けないように頑張っていきたいです。

卒業を目前とすると、楽しかったことだけではなく、大変だったこと、苦しかったこと、感じられます。これからも高校で学んだことを無駄にしないようにいろいろなことに挑戦していきたいと思います。

### 第3回和牛甲子園

全国で最優秀賞!!

畜産部は、第3回和牛甲子園において、総合評価部門最優秀賞を受賞しました。

大会は、令和2年度1月16・17日に東京食肉市場を中心に開催され、審査は取組部門と枝肉部門で評価され、それを合わせた総合部門での評価もあります。30校44頭と前年度大会より参加校は増えていました。取組部門では、「牛から学ぶ かけがえのない青春」という発表題で今年度の活動を発表、枝肉部門は「めい号(H29.21生)」「せな号(H29.6.27生)」の2頭を出品しました。発表は様々な取組、発表の態度や図表のわかりやすさなどが評価され最優秀賞枝肉は、  
めい号 A5 BMSNo.12  
ろース95 バラ 9.7  
せな号 A5 BMSNo.12  
ろース65 バラ 8  
出品牛2頭とも最高ランクの評価を受け、その中でもせな号は優良賞となりました。2部門での入賞により、目指していた総合部門においても最優秀賞を受賞!日本一となりました。毎日頑張ってきた活動の成果が評価され、部員全員喜びました。応援ありがとうございました。これからも頑張ります。



受賞を喜ぶ生徒の様子

発表の様子

### 職員コラム

「スマート農業」という言葉を耳にし始めたのは10年ほど前からだったでしょう。これまで「農業」とは3Kの代表のような職業としてイメージされていた方も少なくなかったと思います。私自身5人の子供がいます。が、子供たちが「将来農業をしたい」と言い出したら「ちょっと待て!」と止めてしまいかもかもしれません。非農家である我が家から見るとそれほど「農業」というものは敷居が高い存在でした。

前任校(山川高校)に赴任し、久しぶりに農業系高等学校への勤務となった際、学校活性化・生徒募集等の企画をする中で農業法人や大学の農学部等を視察する機会を得、この10年でのスマート農業の進化を目の当たりにすることとなりました。

ドローンを使った薬剤散布や圃場見回り、ウェアラブル端末を使って離れた研究所からの指導を受けるなど、以前の農業とはかけ離れたイメージに驚きました。加えて農業法人化や6次産業化などによりきちんと休みの取れる、いわゆる「サラリーマン農家」ということも可能になっていきます。これまで経験や勘を元に行っていたことがITの活用により変わりつつあります。これならば子供が農業に興味を持ったら、応援してみたいなと思えました。

「農」は「食」に繋がり、「食」は「命」に繋がります。

「農業」とは「命」を紡ぐ重要な仕事ですが、ボランティア精神では無く、一つの職業として楽しく働ける農業であってほしいと願っています。(事務長 會田 誠)

## 農芸市場だより

2月の農芸市場は、学校行事により4, 18, 25日(火)のみ14:30からです。

#### 販売物

- <野菜>
  - ・トマト 200円
- <卵>
  - ・Lサイズ 220円 ・Mサイズ 200円 ・MSサイズ 150円
- <肉類>
  - ・豚肉(各250g入り) 各種400~500円
- <加工品>
  - ・豚味噌類 瓶200円 缶250円
- <花類>
  - ・サイネリア 250円

是非お越しください!!

#### 2月のおもな学校行事

- 1日(土) 第8回九州生花商団体連合会  
フラワーデザインコンテスト(福岡)
- 2日(日) 第3回危険物取扱者試験
- 8日(土) 第3回日本漢字能力検定  
秘書検定
- 10日(月) 嘗農の門出を励ます会  
3年登校日
- 12日(水) 視察研修(2D)
- 13日(木) 視察研修(2B)  
1年進路学習(第6回)
- 14日(金) 第4回PTA理事会(拡大)  
サツマイモウイルスフリー苗引渡式
- 17日(月) 進路体験発表会、3年登校日
- 18日(火) 学年末考査(~21日)
- 21日(金) 卒業式
- 25日(火) 第9回文字力テスト、3年登校日  
視察研修(2A)
- 26日(水) 第3回学校関係者評価委員会
- 28日(金) 同窓会入会式、卒業式予行